

事例集の見方

3か年緊急対策全160項目について、災害時に効果を発揮した事例等を幅広く調査して、その中から代表事例を採り上げ、事例集を作成しました。なお、令和3年1月中旬までに関係府省庁より報告があったものを取りまとめています。事例集の見方は下記の通りです。

■ 事業内容のわかる写真や図のイメージ
事業内容がわかる写真や図を掲載しております。

■ 事例のフレーズ・実施場所
事例内容・効果を端的に表したフレーズ、実施場所を記載しております。

■ 事業者名
事例の事業者名を記載しております。

事例概要
河道掘削等により家屋の浸水被害を防止
 (鹿児島県伊佐市)

事業者：国土交通省 九州地方整備局 川内川河川事務所
 災害時に効果を発揮した3か年緊急対策の事例

■ 対策名
事例に対応する緊急対策名(全160項目)を記載しております。

対策名：No.2 全国の河川における洪水時の危険性に関する緊急対策（河道等）

■ 事例分野
緊急対策の分野をアイコンで表しています。

■ 事業名
事例の事業名を記載しております。

事業名：川内川直轄河川改修事業

■ 事例のポイント
事例の内容、効果について、端的に記載しております。

■ 地域の概要・課題
事例の事業実施の背景となる地域の概要や課題について、記載しています。

地域の概要・課題
川内川水系羽月川は伊佐市の中心を流れており、沿川には市街地や農地が存在しています。平成18年7月の洪水では、浸水面積180ha、浸水戸数70戸と甚大な被害を受けました。

事業の概要
羽月川沿いでは、平成18年7月洪水による被害を受け、川内川本川を含めた集中的かつ計画的な再度災害防止対策（河道掘削等）を実施しました。これに加え、更なる対策として、平成30年度より「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」による河道掘削を実施いたしました。

■ 効果
①災害時に発揮された効果、②3か年緊急対策の内容と同様の対策が既に取られていて災害時に発揮された効果、③災害の際に今後見込まれる効果のいずれかを記載しております。

■ 事業の概要
事業の目的と取組内容を記載しています。

3か年緊急対策の分類と冊子の構成
3か年緊急対策の大分類は、Ⅰ：防災のための重要インフラ等の機能維持、Ⅱ：国民経済・生活を支える重要インフラ等の機能維持で区別しており、それぞれ2章と3章にまとめております。ⅠはⅠ-1～Ⅰ-3、ⅡはⅡ-1～Ⅱ-4に細分類されており、タブの位置・枝番号で区別しております。

【3か年緊急対策の分類】

<p>Ⅰ. 防災のための重要インフラ等の機能維持</p> <ul style="list-style-type: none"> I-1 大規模な浸水、土砂災害、地震・津波等による被害の防止・最小化 I-2 救助・救急、医療活動などの災害対応力の確保 I-3 避難行動に必要な情報等の確保 	<p>Ⅱ. 国民経済・生活を支える重要インフラ等の機能維持</p> <ul style="list-style-type: none"> Ⅱ-1 電力等エネルギー供給の確保 Ⅱ-2 食料供給、ライフライン、サプライチェーン等の確保 Ⅱ-3 陸海空の交通ネットワークの確保 Ⅱ-4 生活等に必要の情報通信機能・情報サービスの確保
---	--

2章 3章

タブの位置で区別